

ネイルサロンの衛生措置に関する実態調査結果

I 概要

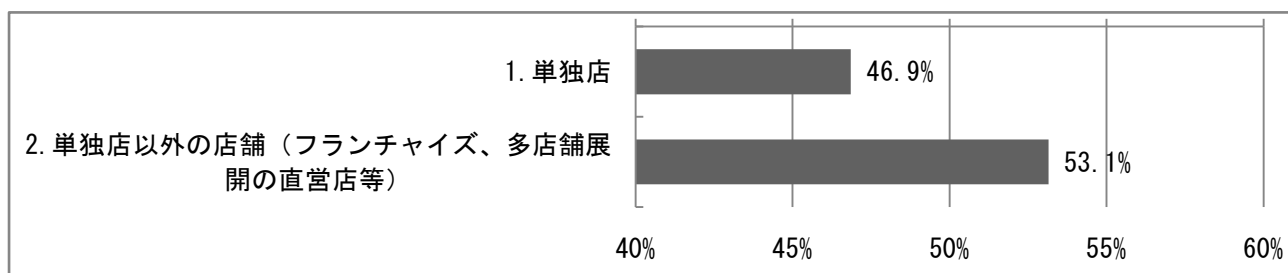
- (1) 調査期間 平成21年5月11日～6月26日
- (2) 調査自治体 札幌市、仙台市、千葉市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、北九州市、千代田区、豊島区、港区、新宿区、渋谷区、中央区、文京区 (計10市7区)
- (3) 調査サロン数 計143
- (4) 調査項目(数) ①一般的事項(5) ②施設及び設備(8) ③従業員の管理(5)
④衛生的取扱い等(3) ⑤自主的管理体制(8)
- (5) 調査の方法 各自治体の環境衛生監視員が調査対象施設を訪問し、調査の必要性等を説明の上、面接による聞き取りにて調査票を作成。
- (6) 調査の集計 厚生労働省健康局生活衛生課にて集計

II 調査結果

1 一般的事項

1-1 店舗の形態

店舗の形態は、単独店(67、46.9%)、単独店以外の店舗(フランチャイズ、多店舗展開の直営店等)(76、53.1%)であった。

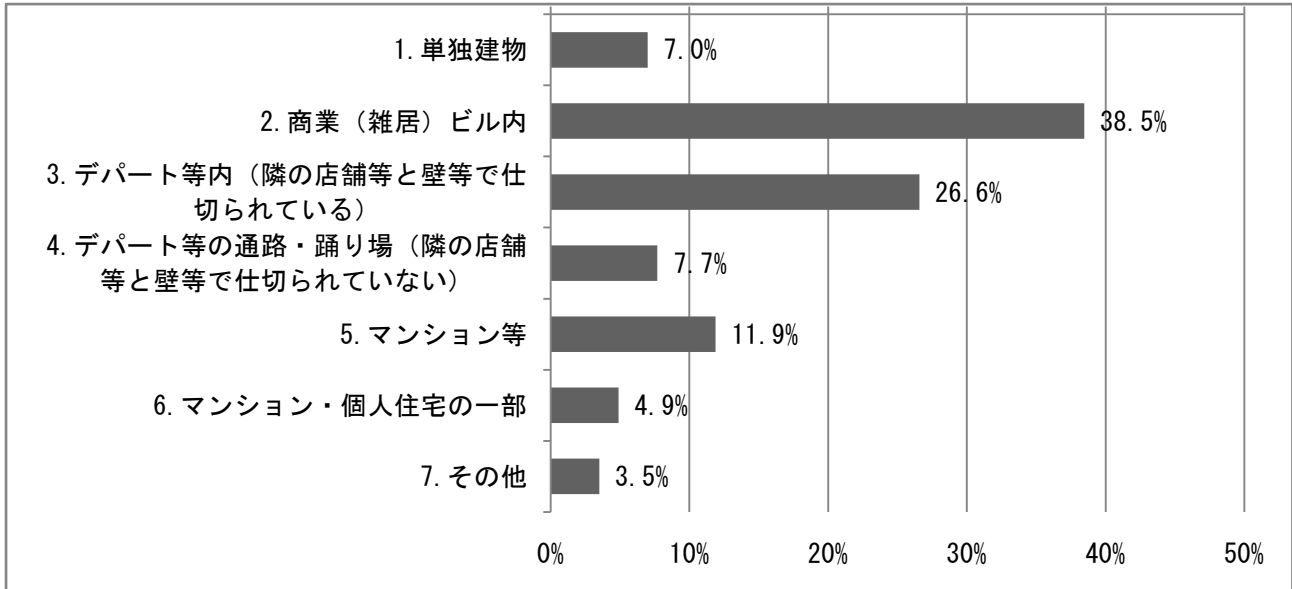


1-2 建物の形態

建物の形態は、1. 単独建物(10、7.0%)、2. 商業(雑居)ビル内(55、38.5%)、3. デパート等内(隣の店舗等と壁等で仕切られている)(38、26.6%)、4. デパート等の通路・踊り場(隣の店舗等と壁等で仕切られていない)(11、7.7%)、5. マンション等(17、11.9%)、6. マンション・個人住宅の一部(7、4.9%)、7. その他(5、3.5%)であった。

その他の内訳は、美容所の一部(3)であった。

注)「5. マンション等」は、居住部分と共用しない施設を指す。「6. マンション・個人住宅の一部」は、居住部分と入り口等を共用としている施設を指す。

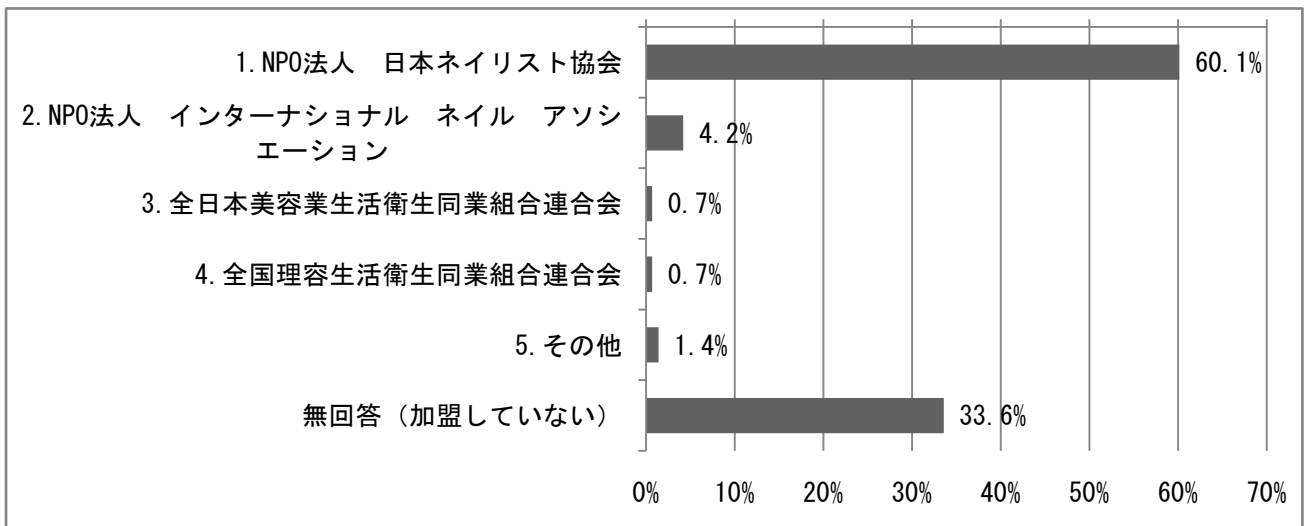


1-3 加盟している団体等（※）

加盟している団体等は、1. NPO 法人 日本ネイリスト協会（86、60.1%）、2. NPO 法人 インターナショナル ネイル アソシエーション（6、4.2%）、3. 全日本美容業生活衛生同業組合連合会（1、0.7%）、4. 全国理容生活衛生同業組合連合会（1、0.7%）、5. その他（2、1.4%）、無回答（加盟していない）（48、33.6%）であった。

その他の内訳は、日本エステティック協会（2）であった。

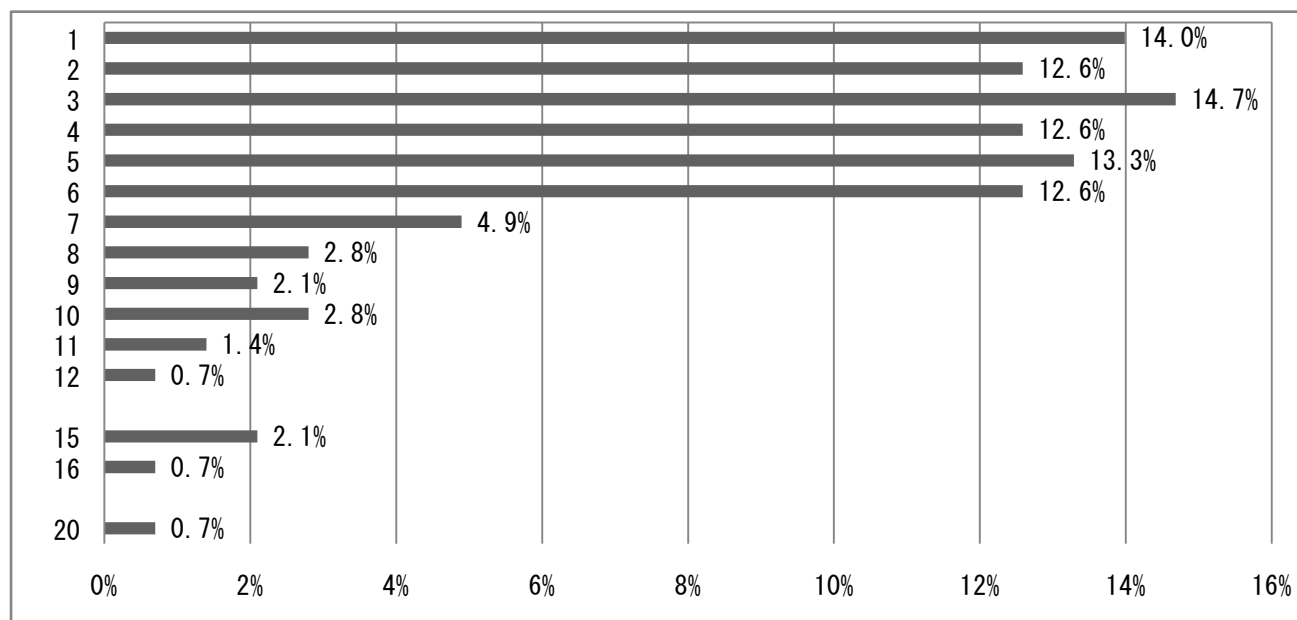
（※）複数回答あり



1-4 施術に従事する従業者数

施術に従事する従業者数は、以下の通り。最小値 1 人、最大値 20 人、平均値 4.7 人、中央値 4.0 人であった。

従業者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	15	16	20
サロン数	20	18	21	18	19	18	7	4	3	4	2	1	3	1	1
割合	14.0%	12.6%	14.7%	12.6%	13.3%	12.6%	4.9%	2.8%	2.1%	2.8%	1.4%	0.7%	2.1%	0.7%	0.7%

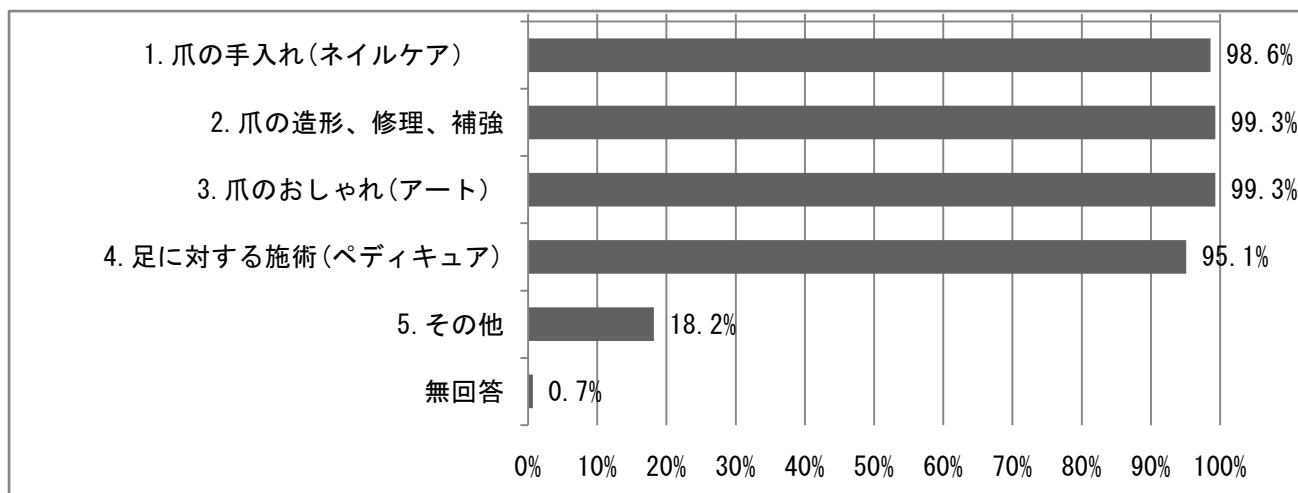


1-5 主な施術内容

主な施術内容は、1. 爪の手入れ(ネイルケア) (141、98.6%)、2. 爪の造形、修理、補強(イクステンション・ネイルチップ・リペア・ネイルラップ・スカルプチュアネイル・ジェルネイル・アーティフィシヤルネイル等) (142、99.3%)、3. 爪のおしゃれ(アート) (142、99.3%)、4. 足に対する施術(ペディキュア) (136、95.1%)、5. その他 (26、18.2%)、無回答 (1、0.7%) であった。

その他の内訳は、マッサージ(7)、フットケア(3)、まつげパーマ等(3)、ハンドトリートメント、フットトリートメント(2)であった。

(※) 複数回答あり

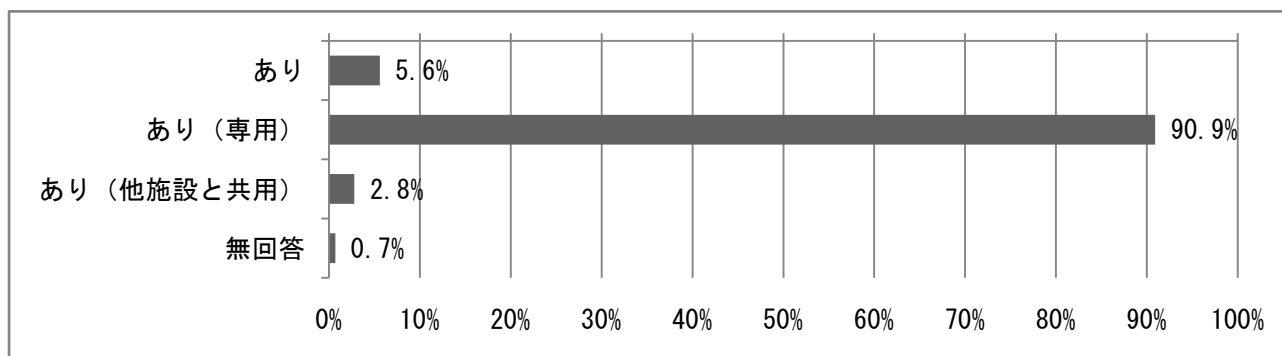


2 施設及び設備

2-1 施設内にある場所の有無

1) 作業場

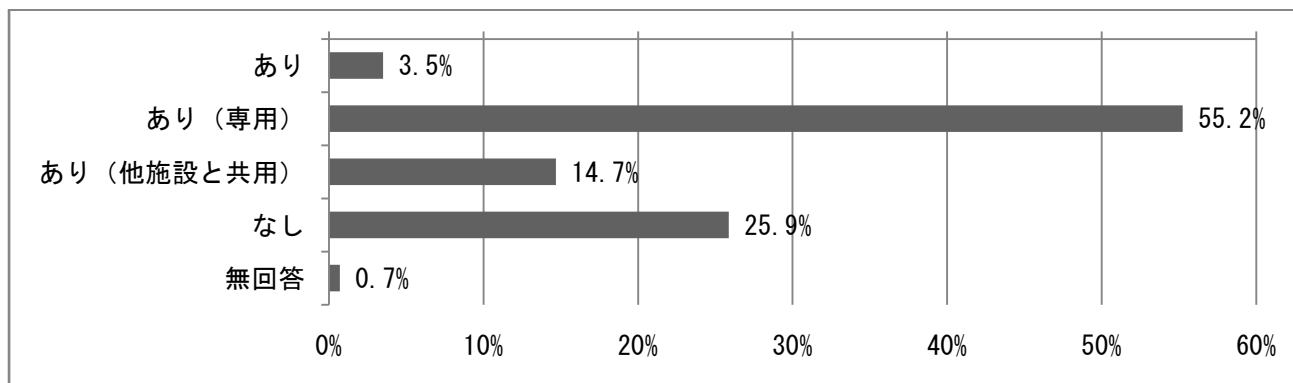
作業場は、あり（8、5.6%）、あり（専用）（130、90.9%）、あり（他施設と共用）（4、2.8%）、無回答（1、0.7%）であった。



2) 客の待合所

客の待合所は、あり（5、3.5%）、あり（専用）（79、55.2%）、あり（他施設と共用）（21、14.7%）、なし（37、25.9%）、無回答（1、0.7%）であった。

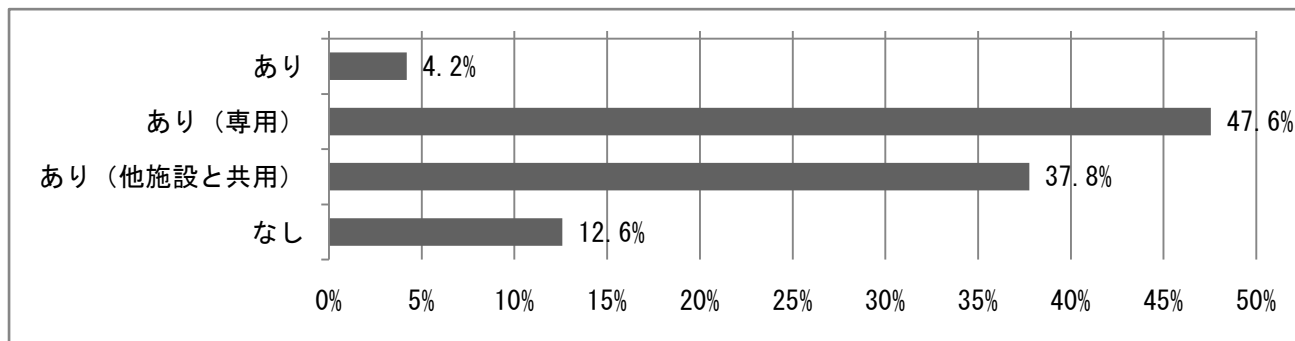
「なし」のうち、予約制(9)、空席等施術場所で待つ(3)であった。



3) 従業者用休憩所・更衣室 (※)

従業者用休憩所・更衣室は、あり(6、4.2%)、あり(専用)(68、47.6%)、あり(他施設と共用)(54、37.8%)、なし(18、12.6%)であった。

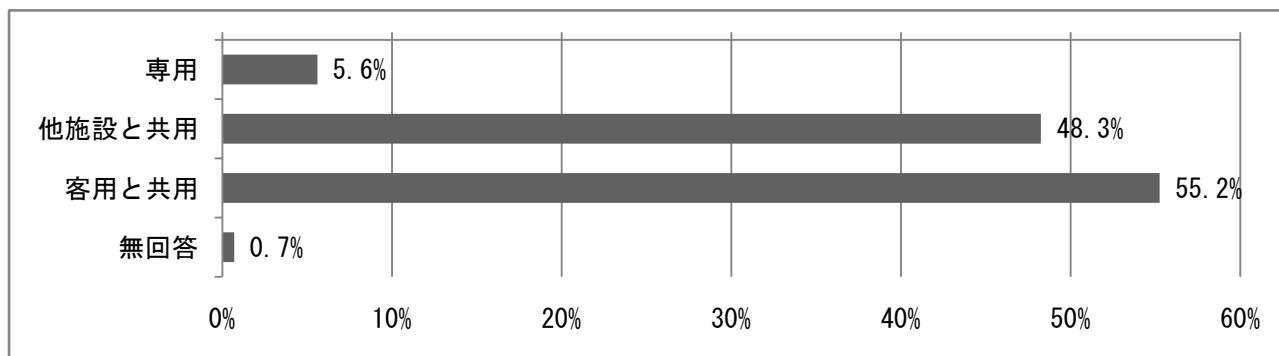
(※) 複数回答あり



4) 従業者用トイレ (※)

従業者用トイレは、専用(8、5.6%)、他施設と共用(69、48.3%)、客用と共用(79、55.2%)、無回答(1、0.7%)であった。

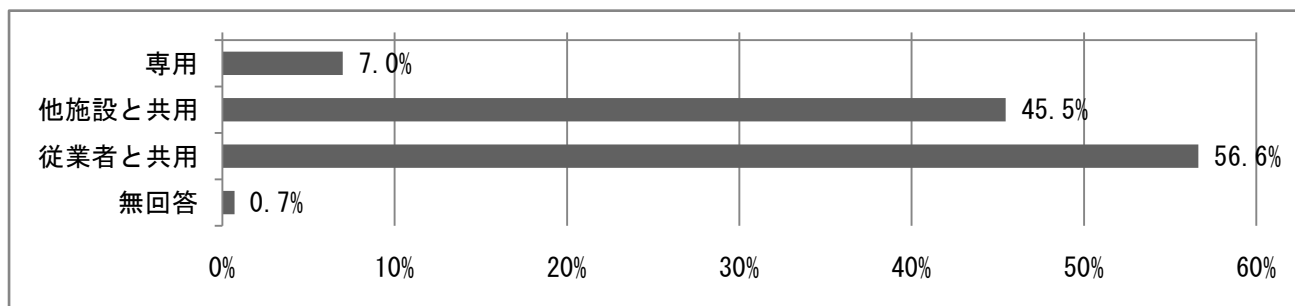
(※) 複数回答あり



5) 客用トイレ (※)

客用トイレは、専用(10、7.0%)、他施設と共用(65、45.5%)、従業者と共用(81、56.6%)、無回答(1、0.7%)であった。

(※) 複数回答あり

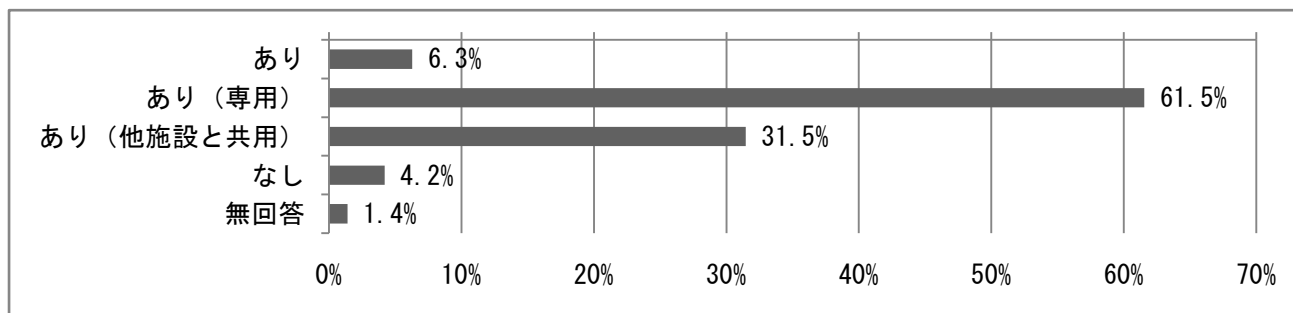


6) 器具等洗い場 (※)

器具等洗い場は、あり (9、6.3%)、あり (専用) (88、61.5%)、あり (他施設と共用) (45、31.5%)、なし (6、4.2%)、無回答 (2、1.4%) であった。

「なし」のうち、トイレ (3) であった。

(※) 複数回答あり

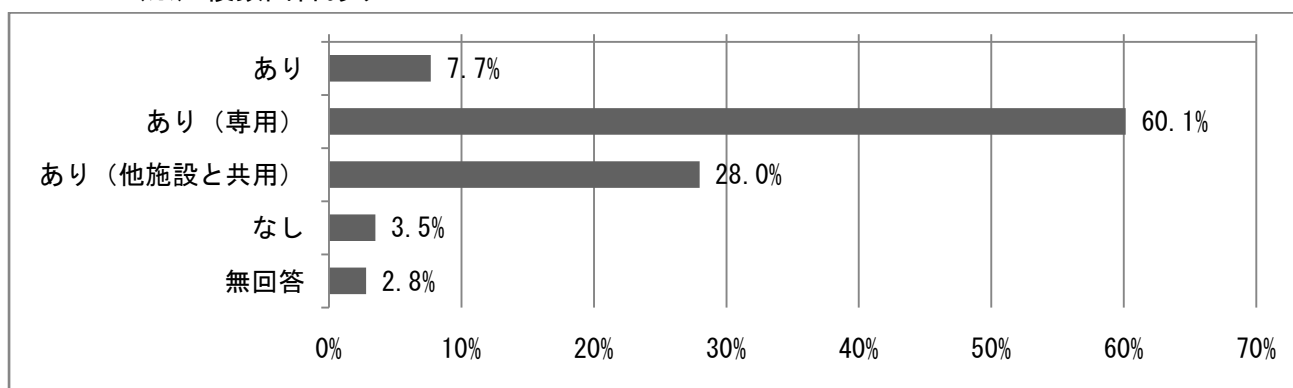


7) 従業者用手洗い場 (※)

従業者用手洗い場は、あり (11、7.7%)、あり (専用) (86、60.1%)、あり (他施設と共用) (40、28.0%)、なし (5、3.5%)、無回答 (4、2.8%) であった。

「なし」のうち、トイレ (3) であった。

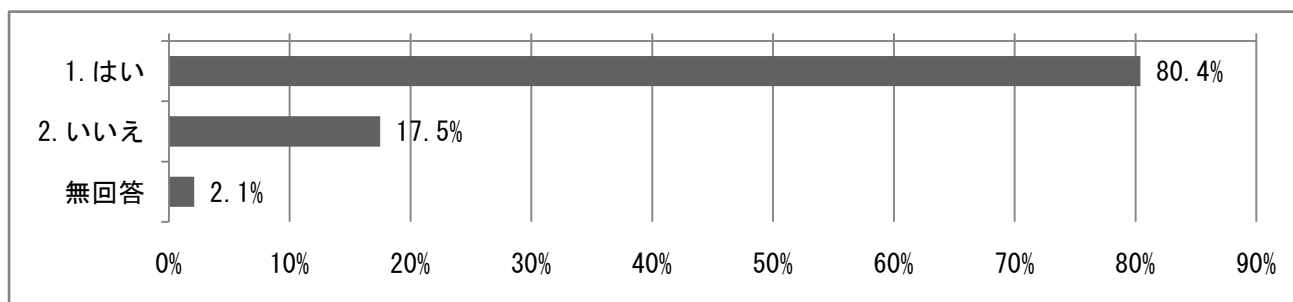
(※) 複数回答あり



2-2 1) 施設が外部と区分されているか。

注) 外部とは他の用途 (商品の販売も含む) の施設・設備を指す

1. はい (115、80.4%)、2. いいえ (25、17.5%)、無回答 (3、2.1%) であった。

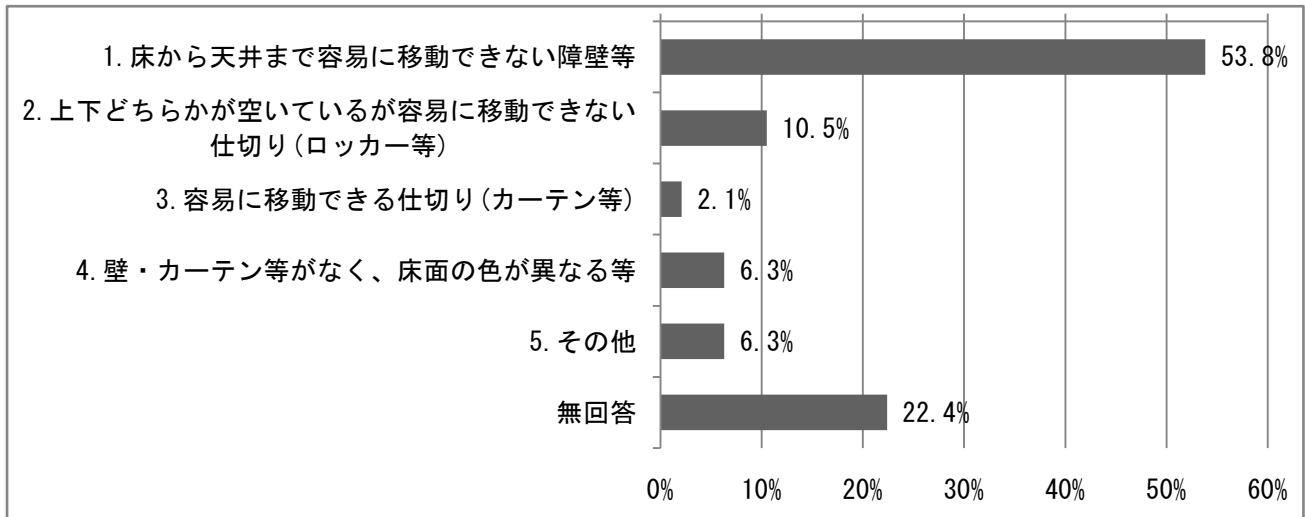


2) 区分されている場合、何で区分されているか。(※)

1. 床から天井まで容易に移動できない障壁等 (77、53.8%)、2. 上下どちらかが空いているが容易に移動できない仕切り(ロッカー等) (15、10.5%)、3. 容易に移動できる仕切り(カーテン等) (3、2.1%)、4. 壁・カーテン等がなく、床面の色が異なる等 (9、6.3%)、5. その他 (9、6.3%)、無回答 (32、22.4%) であった。

その他の内訳は、フロア全てが店舗 (7) であった。

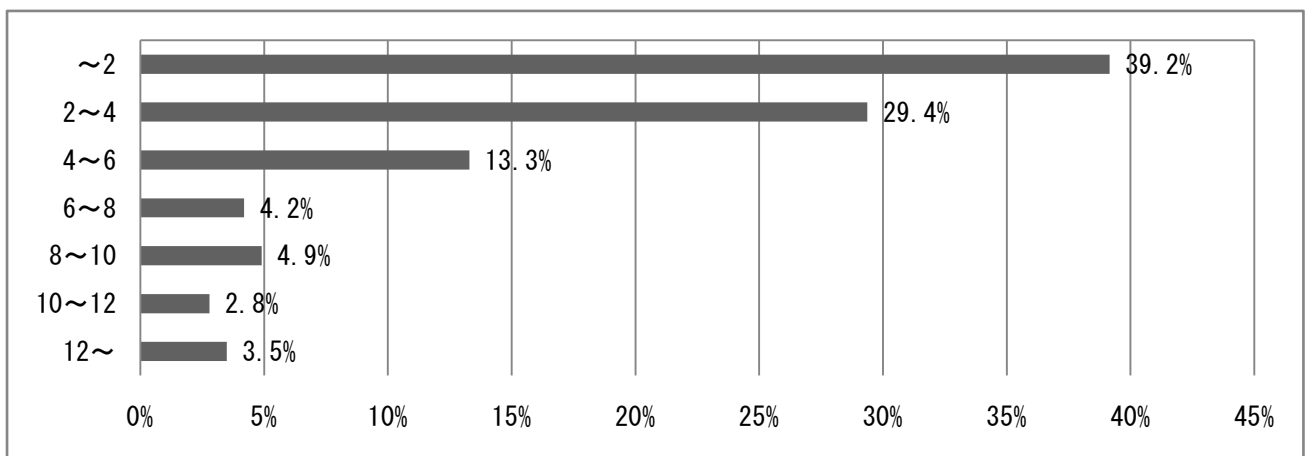
(※) 複数回答あり



2-3 客1人あたりの作業場の面積

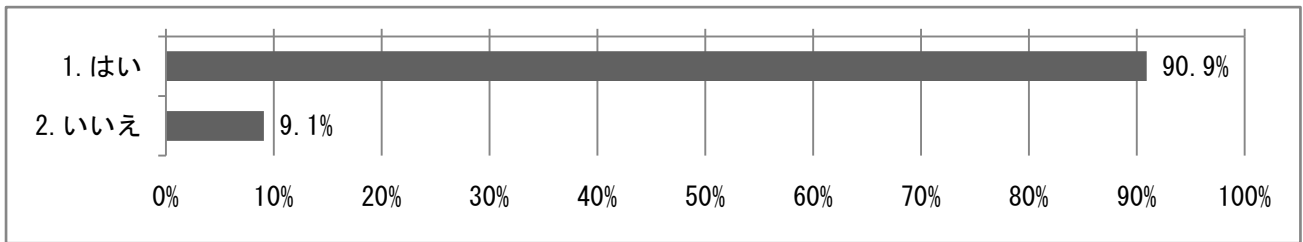
客1人あたりの作業場の面積は、以下の通り。最小値 0.5、最大値 20、平均値 3.5、中央値 2.0 であった。

面積 (m ²)	2 未満	2 以上 4 未満	4 以上 6 未満	6 以上 8 未満	8 以上 10 未満	10 以上 12 未満	12 以上
サロン数	56	42	19	6	7	4	5
割合	39.2%	29.4%	13.3%	4.2%	4.9%	2.8%	3.5%



2-4 1) 作業場は、居室、休憩室等作業に直接関係ない場所から区分されているか。

1. はい (130、90.9%)、2. いいえ (13、9.1%) であった。

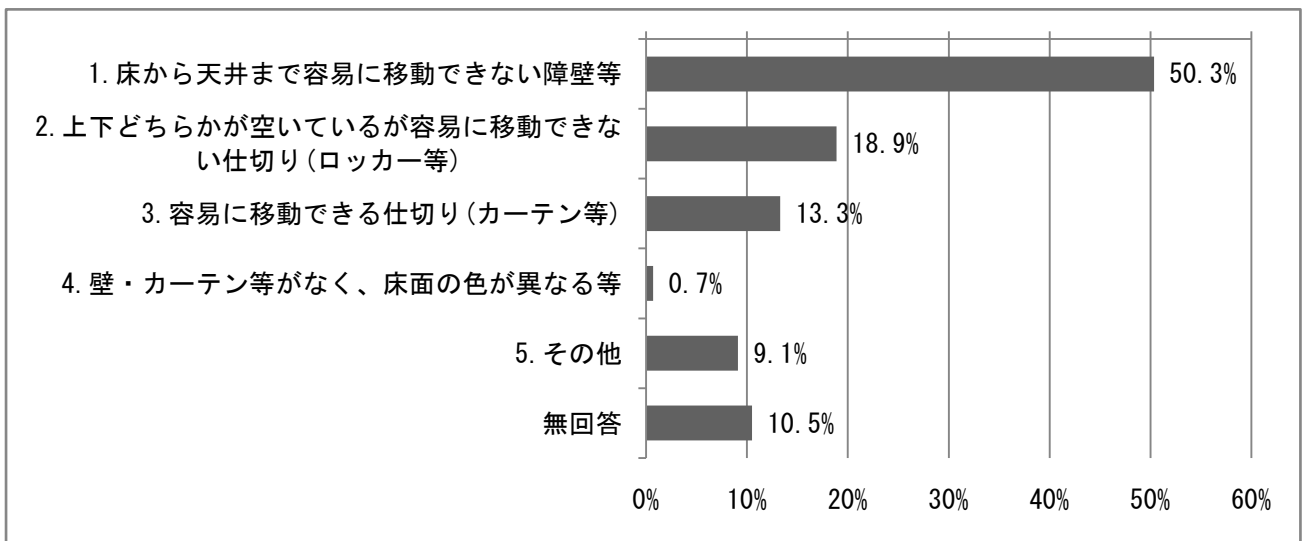


2) 区分されている場合、何で区分されているか。(※)

1. 床から天井まで容易に移動できない障壁等 (72、50.3%)、2. 上下どちらかが空いているが容易に移動できない仕切り(ロッカー等) (27、18.9%)、3. 容易に移動できる仕切り(カーテン等) (19、13.3%)、4. 壁・カーテン等がなく、床面の色が異なる等 (1、0.7%)、5. その他 (13、9.1%)、無回答 (15、10.5%) であった。

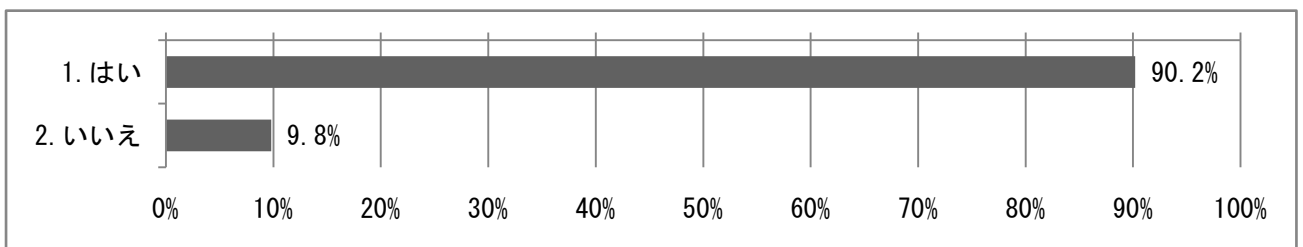
その他の内訳は、休憩室等は別の場所にある (9) であった。

(※) 複数回答あり



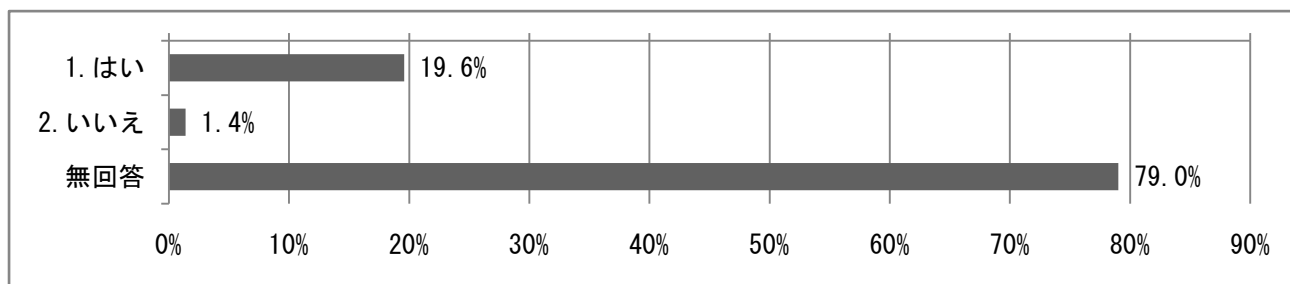
2-5 1) 換気には、機械的換気設備があるか。

1. はい (129、90.2%)、2. いいえ (14、9.8%) であった。



2) 機械的換気設備がなく、自然換気の場合は、換気に有効な開口部を他の排気の影響を受けない位置にあるか。

1. はい (28、19.6%)、2. いいえ (2、1.4%)、無回答 (113、79.0%) であった。

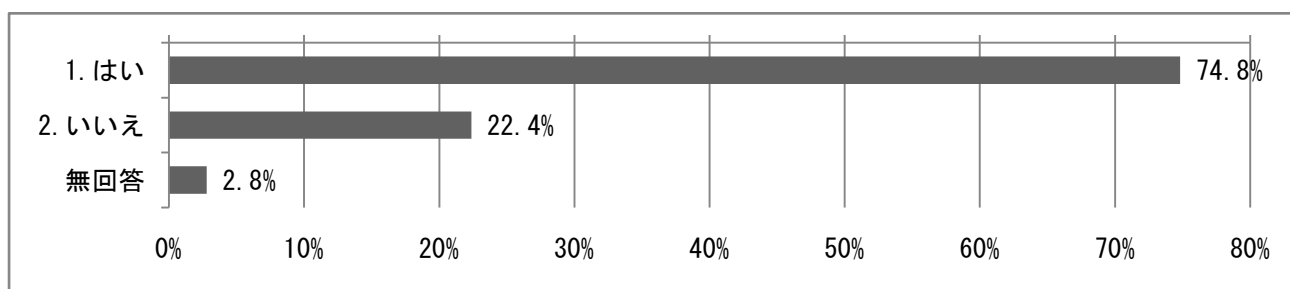


3 従業員の管理

3-1 開設者は施設ごとに衛生管理に関する責任者(以下、衛生管理責任者という)を定めているか。

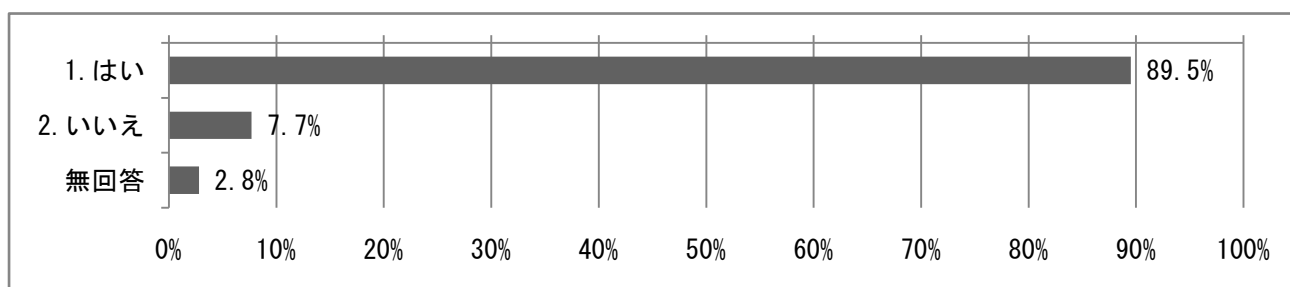
注)衛生管理責任者については、特に資格を問わない。

1. はい (107、74.8%)、2. いいえ (32、22.4%)、無回答 (4、2.8%) であった。



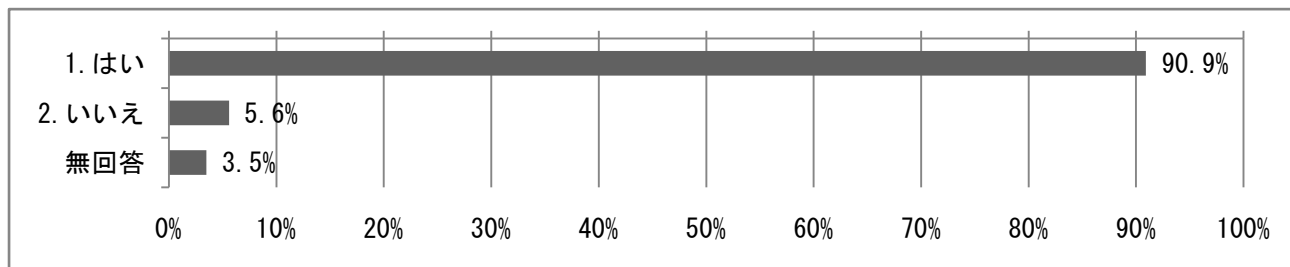
3-2 衛生管理責任者は、施術が衛生的に行われるように、常に従業員の衛生教育に努めているか。

1. はい (128、89.5%)、2. いいえ (11、7.7%)、無回答 (4、2.8%) であった。



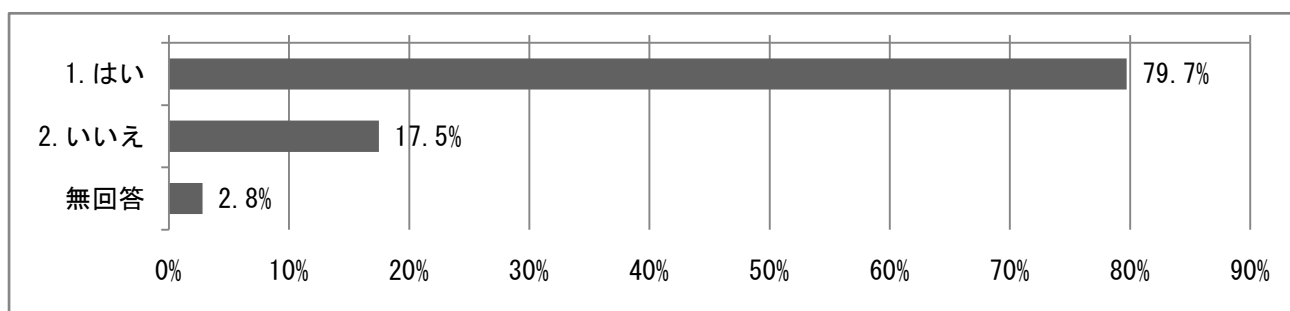
3-3 衛生管理責任者は、常に従業員の健康管理に注意し、感染性の皮膚疾患にかかったときは、当該従業員を作業に従事させないこととしているか。

1. はい (130、90.9%)、2. いいえ (8、5.6%)、無回答 (5、3.5%) であった。



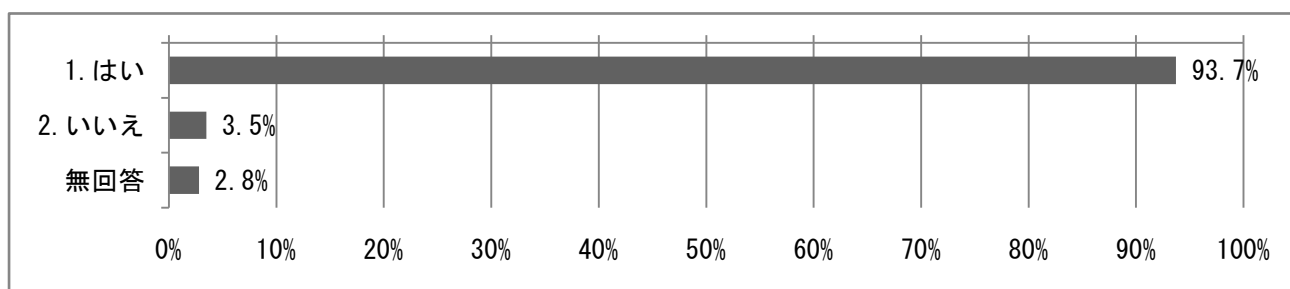
3-4 衛生管理責任者は、毎日、従業員が感染症にかかっていないかどうかを確認しているか。

1. はい (114、79.7%)、2. いいえ (25、17.5%)、無回答 (4、2.8%) であった。



3-5 衛生管理責任者は、毎日、施設、設備、器具等の衛生全般について点検管理しているか。

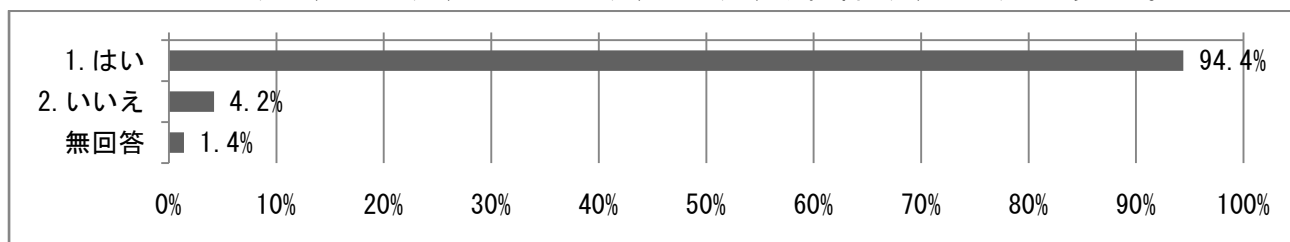
1. はい (134、93.7%)、2. いいえ (5、3.5%)、無回答 (4、2.8%) であった。



4 衛生的取扱い等

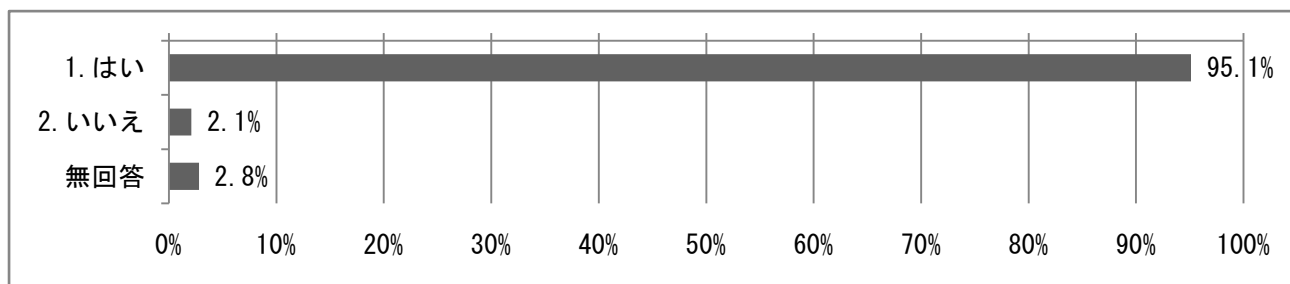
4-1 作業中、従業員は、清潔な外衣(汚れが目立ちやすいもの)を着用しているか。

1. はい (135、94.4%)、2. いいえ (6、4.2%)、無回答 (2、1.4%) であった。



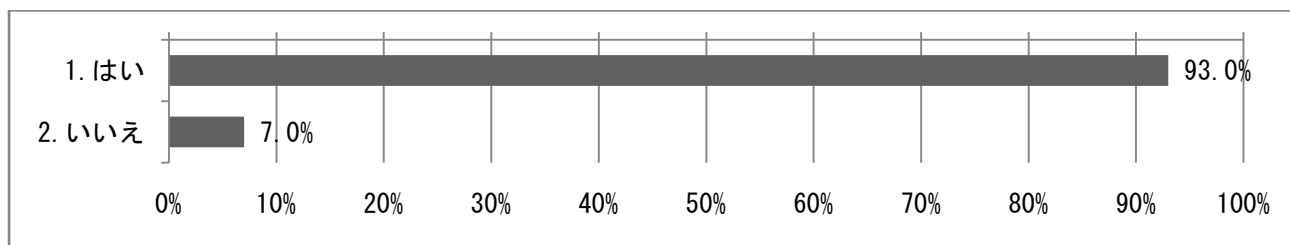
4-2 従業者は、客1人ごとの作業前及び作業後には手指の洗浄を行い、消毒を行っているか。

1. はい (136、95.1%)、2. いいえ (3、2.1%)、無回答 (4、2.8%) であった。



4-3 外傷に対する救急処置に必要な薬品及び衛生材料を常備し、用いる時には、適正に使用しているか。

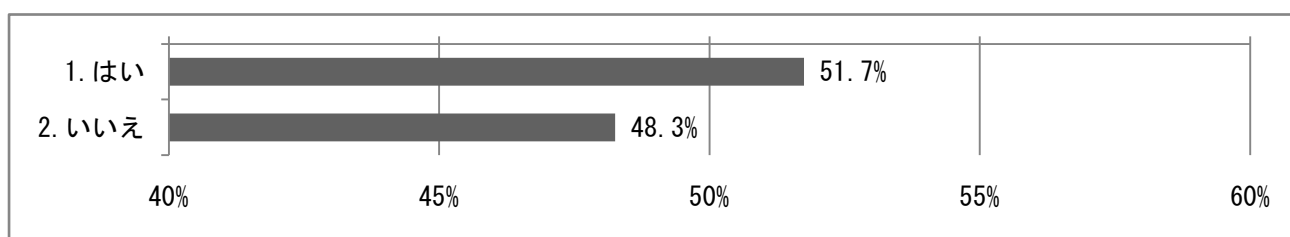
1. はい (133、93.0%)、2. いいえ (10、7.0%) であった。



5 自主的管理体制

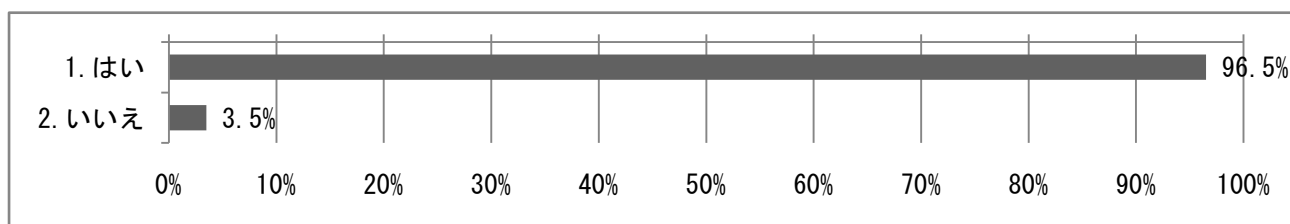
5-1 開設者は、施設及び取扱い等に係る具体的な衛生管理要領を作成し、従業者に周知徹底しているか。

1. はい (74、51.7%)、2. いいえ (69、48.3%) であった。



5-2 従業者は施術を行うに当たり、事前に感染症及び皮膚疾患等の治療中か、アレルギー体質か、薬を服用しているか、敏感肌であるか、その他施術を受けるにあたり、支障のないことを、客に確認しているか。

1. はい (138、96.5%)、2. いいえ (5、3.5%) であった。

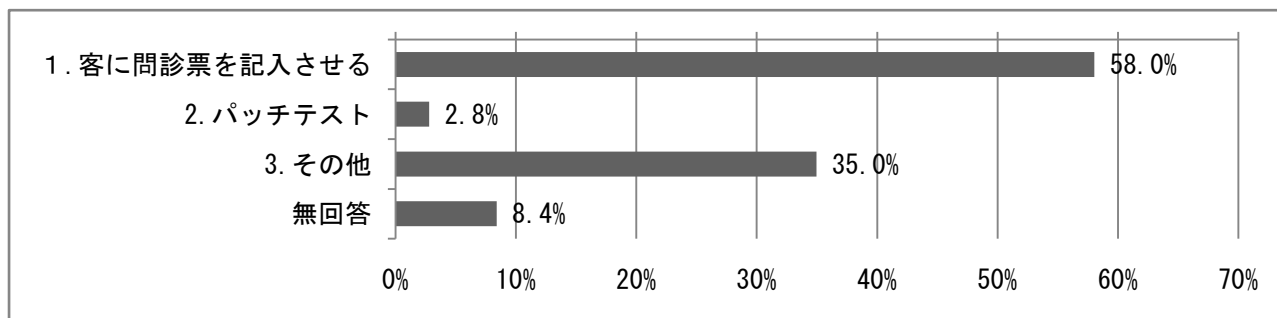


5-3 上記 5-2 で「はい」の場合、その方法はどのようなものか。(※)

1. 客に問診票を記入させる (83、58.0%)、2. パッチテスト (4、2.8%)、3. その他 (50、35.0%)、無回答 (12、8.4%) であった。

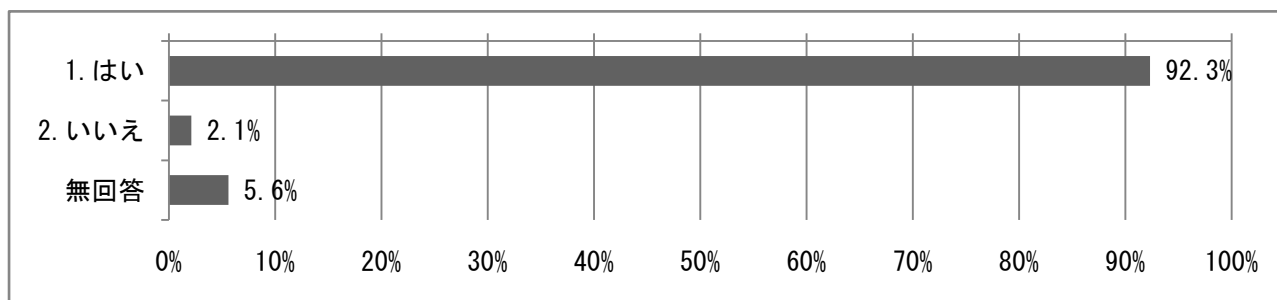
その他の内訳は、口頭、問診、カウンセリング等で確認 (48) であった。

(※) 複数回答あり



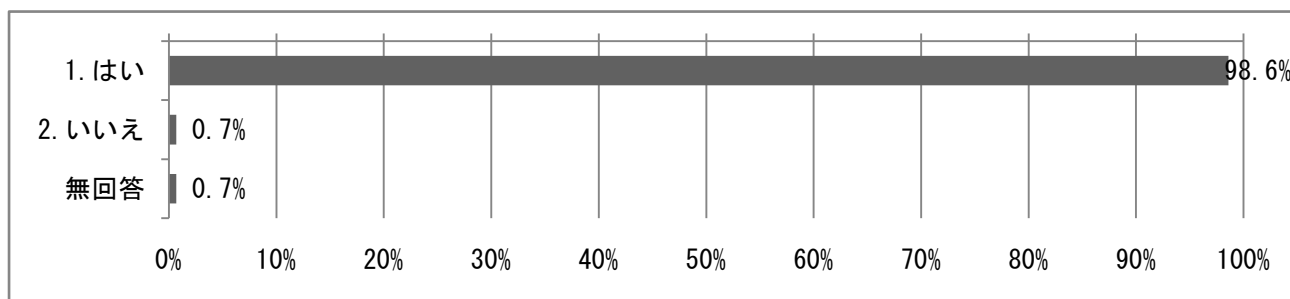
5-4 つけ爪の使用期間を定め、利用者に説明しているか。

1. はい (132、92.3%)、2. いいえ (3、2.1%)、無回答 (8、5.6%) であった。



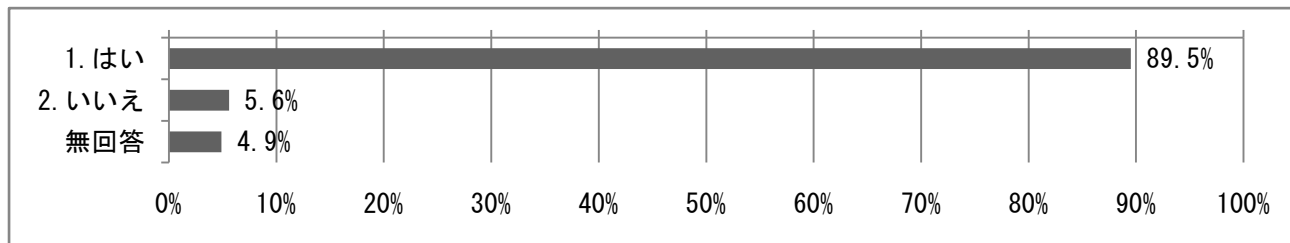
5-5 施術後のケアについて十分な説明をしているか。

1. はい (141、98.6%)、2. いいえ (1、0.7%)、無回答 (1、0.7%) であった。



5-6 1) 施術に伴う健康被害発生の危険性等について、施術前に利用者に十分な説明を行っているか。

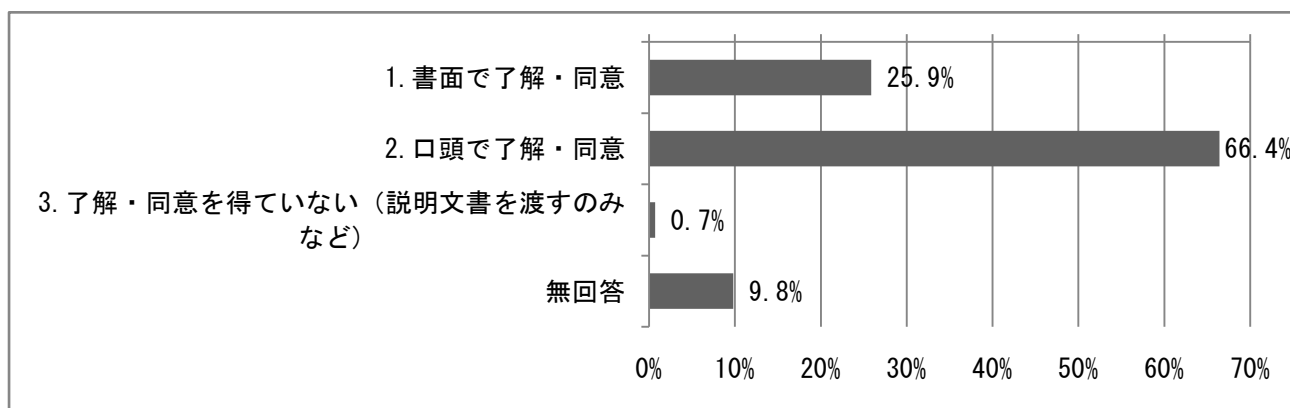
1. はい (128、89.5%)、2. いいえ (8、5.6%)、無回答 (7、4.9%) であった。



2) 上記5-6-1)で「はい」の場合、了解・同意を得ているか。(※)

1. 書面で了解・同意 (37、25.9%)、2. 口頭で了解・同意 (95、66.4%)、3. 了解・同意を得ていない (説明文書を渡すのみなど) (1、0.7%)、無回答 (14、9.8%) であった。

(※) 複数回答あり



5-7 施術に使用する薬剤の用途及び成分を把握しているか。

1. はい (130、90.9%)、2. いいえ (8、5.6%)、無回答 (5、3.5%) であった。

